

令和6年度 連携研究スキームによる研究（政策研連携研究課題）
研究成果等概要報告書

研究テーマ名	農産物・食品の輸出制限的措置による世界の食料需給・貿易構造及びフードセキュリティへの影響に関する研究
政策研連携研究課題名	農産物・食品の輸出制限的措置発動のリスクを踏まえた望ましいフードセキュリティ指標構築に関する研究
研究実施期間（西暦）	2023年度～2025年度（3年間）
PO	小泉 達治

1 研究の進捗状況等

① 輸出制限的措置が世界のフードセキュリティに与える影響と政策対応

2022年に農産物・食品の輸出制限的措置を発動した30か国を類型化し、同措置の発動が世界食料需給・世界のフードセキュリティに与える影響と政策対応についての考察を行った。

- Tatsuji Koizumi, Gen Furuhashi and Takumi Sakuyama “Impact of Export Restriction Measures in the Agricultural and Food Sector on Global Food Security” JARQ, 59(1): 71-78, 2025.
<https://doi.org/10.10690/jarq.59.7>

- 上記論文について、日FAO戦略会議におけるプレゼンと政策提案（窪田国際食料情報特別分析官から報告：2024年12月16日：FAO本部）
- 小泉達治・柏木健一「食料の輸出規制が世界のフードセキュリティに与える影響」2025年度日本農業経済学会特別セッション座長解題，2025年3月30日（予定）。
- Tatsuji Koizumi, Gen Furuhashi and Takaji Kusano, “Impacts of Indian Rice Export Restrictions on the Global Indica and Japonica Rice Markets”, 2025年度日本農業経済学会特別セッション報告予定，2025年3月30日（予定）。

② 世界のフードセキュリティの定義や新たな展開についての論点整理・考察

フードセキュリティの概念・定義を整理し、フードセキュリティの定義や新たな展開についての考察を行った。

- 小泉達治「フードセキュリティの国際的潮流から学ぶ—顕在化するリスク・不確実性ー」『農業経済研究』,96(2): 120-134, 2024.
- Tatsuji Koizumi “International Contexts of Food Security: Emerging Risks and Uncertainties”, JJAE, 27:34-36, 2025 (2025年3月刊行予定)
- 小泉達治「フードセキュリティとは何か」等『図解 食料安全保障入門』（平澤明彦、阮蔚、小針美和監修）家の光協会：16-21, 109-111, 130, 2024.
- 小泉達治「世界のフードセキュリティと栄養の現状（上）」Agrio, 515: 6-8, 2024.

- ・小泉達治「世界のフードセキュリティと栄養の現状(下)」Agrio, 516: 5-7, 2024.
- ・小泉達治「フードセキュリティを巡る新たな展開：進化する定義」Agrio, 521: 8-10, 2024.
- ・小泉達治「国際的なフードセキュリティの定義」『アグリバイオ』2025年3月刊行予定。

③ 輸出制限措置を評価するフードセキュリティ指標構築に向けた研究
輸出制限措置による世界各国・地域におけるフードセキュリティに与える影響を評価するための指標案を新たに検討した。また、FAOや他の機関によるフードセキュリティ指標を整理・比較し、フードセキュリティを評価する新たな指標案についての考察を行った。

・Tatsuji Koizumi, Gen Furuhashi and Fumihiro Kabuta, "A Review of Food Security Indicators for Restrictive Export Measures on Agricultural and Food Products", JARQ に投稿(2024年10月)、現在査読中。

・小泉達治・三宅良尚「フードセキュリティにおける持続可能性の環境的基盤要素と評価指標についての考察」2024年度日本フードシステム学会、九州大学、2024年6月23日。

・小泉達治・三宅良尚「フードセキュリティにおける持続可能性の環境的基盤要素と評価指標についての考察」『フードシステム研究』2025年3月刊行予定。

④ 主要国における輸出制限的措置発動の動向調査

主要農産物輸出国による農産物・食品の輸出制限的措置の動向について調査・分析を実施。

- ・草野拓司「インドによるコメの輸出動向(仮題)」農林水産政策研究所プロ研資料、2025(現在、執筆中)。
- ・後藤正憲「ロシアとウクライナ：農業ビジネスの地政学的变化」農林水産政策研究所プロ研資料、2025(現在、執筆中)。
- ・田澤裕之「アルゼンチン - アルゼンチンの漁業・養殖業の現状と課題(仮題)」農林水産政策研究所プロ研資料、2025(現在、執筆中)。

(注1) 全研究期間をとおしての研究全体の進捗状況を5行程度で簡潔に記載し、当該年度に研究を実施した研究項目ごとの進捗状況を3~5行程度で簡潔に記載すること。

(注2) 学会発表、論文発表等成果の公表状況(リスト)を添付すること。

(注3) 農林水産政策研究所のホームページで公表するため、未公表データや知的財産等に関する事項については、十分に注意して作成すること。また、公表できる内容のみを記載すること。